

日本被団協の

田中熙巳さん

をお迎えして

高校生と考える
いま、「核なき世界」をどう実現するか

2025/11/29(土) 14時～16時45分

神奈川県弁護士会館5階 定員120名



参加費無料・オンライン参加も可能です(Zoom定員500名)。

オンライン参加の方は当日右2次元バーコード又は下記URLからアクセスし、各企画一覧から本企画をご選択ください。

<https://www.kanaben.or.jp/news/event/2025/sympo2025.html>

【登壇者】

★田中熙巳さん(日本原水爆被害者団体協議会代表委員)

「被爆の実相と核兵器廃絶への思い」

～日本被団協は何を訴えてきたのか～

★高校生平和大使

高校生一万人署名活動に関わる神奈川県の高校生の皆さん

★太田昌克さん(共同通信編集委員)

「核兵器をめぐる世界と日本の80年」

～核兵器廃絶に向けて～



日本被団協の田中熙巳さんをお迎えして

高校生と考える いま、「核なき世界」をどう実現するか

今年は戦後80年、広島・長崎の被爆から80年です。

原爆の惨禍と核兵器の非人道性を訴えてきた日本被団協が昨年ノーベル平和賞を受賞しました。ノルウェー・オスロでノーベル賞受賞スピーチを行った日本被団協の田中熙巳さんをお迎えして、日本被団協は何を訴え、何を求めてきたのか、お話を伺います。

高校生平和大使・高校生一万人署名活動に関わる神奈川県内の高校生の皆さんには、核廃絶をめざす署名活動や国連ジュネーブ事務局訪問等の御報告をしていただきます。

太田昌克さんには、世界と日本はこれまで核兵器とどう向き合ってきたのか、核廃絶に向けて、「核抑止」の考え方はどう乗り越えていけばよいのか、核のタブーの揺らぐ今日の世界情勢を踏まえてお話いただきます。是非ご参加下さい！

【登壇者ご紹介】

★田中熙巳さん

県立長崎中学校1年在学時、爆心地から3.2キロの地点で被爆。爆心地付近にいた2人の伯母の家族5人の命を一挙に奪われる。1972年から被爆者運動に関わり、2000年6月より、日本被団協事務局長。2017年6月より、日本被団協代表委員。埼玉県原爆被害者協議会名誉会長。2024年に日本被団協のノーベル平和賞受賞にあたり、12月10日にノルウェー・オスロで開かれた授賞式で受賞演説を行う。工学博士。

★高校生平和大使・高校生一万人署名活動

＜高校生平和大使とは＞1998年から現在まで、国連欧州本部をはじめ世界各地で、核兵器廃絶と平和な世界の実現を訴えている。年に一度全国より公募選出され、今年は24名の高校生平和大使が、8月31日から国連欧州本部を訪問した。

＜高校生一万人署名活動とは＞2001年に高校生の核兵器廃絶を求める思いから長崎で生まれた活動。全国各地の街頭で、高校生が署名活動を行なっている。

★太田昌克さん

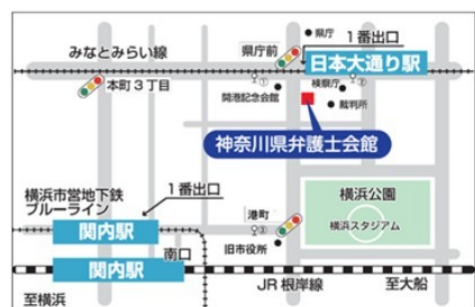
共同通信編集委員。1992年入社、広島支局勤務以来、核兵器の問題を一貫して追及し、幅広い活動をしてきた。核問題に関する国際報道で2006年度ボーン・上田記念国際記者賞。日米核密約に関する調査報道で2009年度平和・協同ジャーナリスト基金賞（大賞）。『核クライシス』、『偽装の被爆国』、『日米<核>同盟』などの著書多数。早稲田大学客員教授、長崎大学客員教授。

2025/11/29(土) 14時-16時45分

神奈川県弁護士会館5階

横浜市中区日本大通9番地

主催：神奈川県弁護士会
(お問合せ) ☎045-211-7705
(平日9～12時、13～17時)



原爆の体験をうかがう貴重な機会です。若い方々をぜひお誘い下さい！